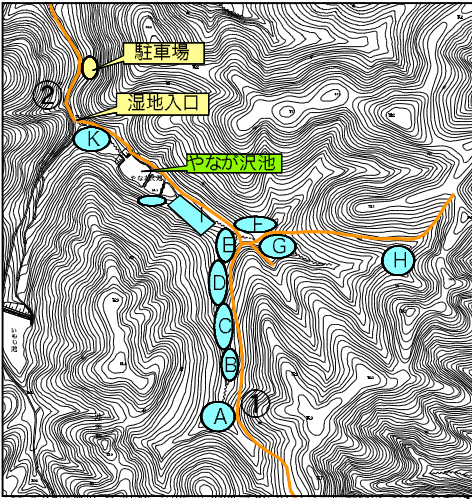


北山だより

北山湿地を守る活動



【3月の作業内容(21日(土)9時～12時(参加26人))】①A湿地見晴台・木道に手すり(柵)設置とすべり止め施工②駐車場からK湿地にかけてササ刈り取り



手すりの杭を取り付け

ショウジョウバカマにハルリンドウ、コバノミツバツツジ、ナンカイイワカガミ、そしてギフチョウ…。北山湿地は春真っ盛りです♣山道や木道を歩いていると、さまざまな植物や生き物の姿が目に入ることでしょう。しかし、決して木道から降りたり柵の中に入ったりしないでください♣きれいな花の写真が撮りたい!という気持ちはわかりますが、撮影はあくまで柵の外や木道から。望遠レンズを使い



ましよう♣保全作業も、湿地内に入って花芽など踏まないよう、柵の外でできることを行います。3月は被圧植物であるササを刈り取りました♣ササは山道沿いや土手などに咲くショウ



ジョウバカマやスマレ類、ササユリなどを被圧します♣刈り払い機を使えば簡単ですが、これらの植物の花や芽も刈り取ってしまうため、手作業で行いました♣A湿地で見られるナンカイイワカガミ。インターネットでこの名前を検索しますと、意外なことに北山湿地が少なからず登場します。湿地を訪れた方々のブログ(ネット上の

北山湿地は、岡崎市自然環境保全条例に基づく自然環境保護区に指定されています。湿地およびその周辺でのすべての動植物の採取にかかわる行為は禁止されています。これに違反した場合は、最高30万円以下の罰金が科せられるとともに、氏名・住所が公表されます。貴重な自然環境の保護にご協力ください。



日記)ですが、白く可憐な花が山肌に群生する姿はかなり印象が強いようで、皆さんこぞって紹介しています。北山湿地のナンカイイワカガミは全国区!♣一方、春の昆虫の代表格がギフチョウ。今年は3月末頃から姿を見せ始めました。4月下旬頃まで見る事ができます。よく晴れた風の弱い日中が見ごろ♣このギフチョウも北山湿地の知名度を上げています。特にチョウの好きな方々の間では知られているようで、やはりブログでよく取り上げられています♣ギフチョウだけでなく、ルリタテハ、コツバメ、キタキチョウ、テングチョウなど、成虫やサナギで越冬したチョウたちも登場します。北山はチョウの宝庫!♣現在、おかざき湿地保護の会および岡崎市は、ギフチョウの生息状況調査と違法な捕獲防止のための監視活動を実施しています。

《バードウォッチングのご案内》中央総合公園(高隆寺町)で開催。この時期はシジュウカラやオオルリ、ホオジロ、ヤマガラなどの小鳥たちが子育ての真っ最中だそうです。【日時】5月23日(土)9時～正午(雨天時は30日)【集合場所】同公園内の美術博物館第2駐車場【講師】岡崎野鳥の会【持ち物など】筆記用具、飲み物、あれば双眼鏡・望遠鏡、軽装で【その他】参加無料。申し込み不要、直接集合場所へ。参加者に記念品あり【問い合わせ】岡崎市自然共生課自然保護班まで。

《森の駅 5月のプログラムから》【日近の里・鯉のぼりの掲揚】乙川沿いに150匹の鯉のぼりが泳ぎます▼4月19日～5月9日▼乙川に架かる学校橋付近（桜形町）※その他のプログラムについては市政だより4月15日号または森の駅・自然共生課それぞれのホームページで。

春の北山湿地を満喫！



おかざき湿地保護の会が講師を務める、恒例の春の北山湿地観察会が4月12日(日)9時～正午に開かれました。参加者18人、サポート役の会員9人で、駐車場からA湿地目指してスタートしました。

去年の観察会では、開会のあいさつの最中にギフチョウが現れ、騒然とした中で始まりましたが、今回は残念ながら観察会を通してギフチョウには出会えず、静かなスタートとなりました。



コバノミツバツツシに囲まれて

ながら、山道や木道沿いに見られる北山湿地の特徴的な植物や



タベサナエとヤゴ (下)

ラズ、ヒメカンアオイ、タカノツメやアラハシラガゴケ、ホトケドジョウやシマアメン



ボなど。次々登場する貴重な動植物に参加者は皆、興味津々の様子で、時には驚きの歓声を上げながら、メモを取ったり写真を撮影したり質問したりと、慌ただしくも北山湿地固有の世界に浸っていました。特に関心を集めたのが、やなが沢池の水辺で見られたタベサナエのヤゴからの羽化。通常、なかなか見ることのできない場面ですが、運良く昨年引き続き今年も出会えました。羽化直後でまだ飛ぶことのできないタベサナエ。胎盤の役目をした白い糸状のものが残るヤゴの抜け殻。普段、テレビでしか見ることができない

生き物を紹介して行きました。ササユリやサクラバハノキ、ヘビノボ

ような自然の営みを目の当たりにして、参加者はしばらくその場を動くことができませんでした。



ナンカイイワカガミ

最後のA湿地では、一面のハルリンドウや今が盛りのナンカイイワカガミなどを堪能。休憩場所では、通常の観察では見ることのできないトビケラの幼虫の巣などを回し見るなどした後、

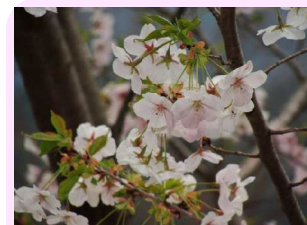


ハルリンドウ

講師が自然環境の保護保全活動への理解と協

力を呼びかけて閉会しました。

今回の観察会を通して生物多様性の意味と重要性を理解していただき、身近に残る貴重な自然を守ることへの関心が高まれば、と思いました。



4月4日(土)午前、おおだの森(夏山町)でヤマザクラの花見会が開かれました。

おおだの森では、「サクラの森」を目指して整備が進められています。花見といえばソメイヨシノですが元々の花見とはヤマザクラを愛でることから始まりました。参加者150人は山頂までゆっくり歩きながら、春を満喫しました。



【マメナシ】サクラと同じバラ科ですが、サクラがサクラ属に対し、マメナシはナシ属。シデコブシなどと同じ東海丘陵要素植物、つまり世界中で東海地方だけに生育する植物の一つ。愛知県では絶滅危惧ⅠA類、環境

省ではⅠB類に指定しており、絶滅の恐れが最も高い種です。尾張では比較的多いですが、三河では写真の西尾市内など、わずかに見られる程度。

